

消石灰系仕上げ塗材

漆喰塗料 アレスシックイ

系 統 消石灰系仕上げ塗材

適用規格

ホルムアルデヒド放散等級 F

特 長

- 1) VOCをほとんど含みません。
- 2) ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼンは、配合していません。
- 3) 刷毛・ローラーで塗装可能です。
- 4) EPなどに比べ、低臭です。
- 5) 表面に発生する結露を抑制します。
- 6) CO₂削減効果があります。
- 7) 消臭効果があります。
- 8) ホルムアルデヒド吸着、無害化する機能があります。
- 9) 強アルカリ膜による、抗菌性・抗ウイルス性を有します。(有機系薬剤を配合してません。)
- 10) 櫛引きなどの模様仕上げも可能です。
- 11) JIS表示はしませんが、JISA6909内装薄塗材Lの規格に合格する性能を有します。
- 12) F 表示製品です。
- 13) 防火材料認定品
 NM - 8572 (有機質砂壁状塗料塗り/不燃材料)
 QM - 9812 (有機質砂壁状塗料塗り/準不燃材)
 RM - 9361 (有機質砂壁状塗料塗り/難燃材料)

塗装条件

塗装方法	刷毛1回目	刷毛2回目	ローラー1回目	ローラー2回目	
希 釈 率	5~10%	5~10%	5~10%	5~10%	
標準所要量 (kg/m ² /回)	0.16	0.20	0.16	0.20	
希 釈 剤	上 水				

- (1) 標準所要量は、個々の条件によって異なります。
- (2) 標準塗付け量は、1.2(kg/m²/回)です。
- (3) 所要量・塗付け量の定義は、JASS18に準拠しております。
-) 標準塗付け量は、1回目を記載しております。

塗装間隔

項 目		温 度	
		23	5
標準塗装間隔	最 短	4時間	5時間
	最 長	7日以内	7日以内
使 用 時 限			

塗料性状

項 目	内 容
1 荷 姿	4kg, 15kg
2 混 合 比	
3 色	ホワイト・ピンク・アイボリー・グレー
4 つ や	つや消し
5 仕 上 が り 感	平滑
6 塗 料 比 重	1.45
7 溶 剤 比 重	1.00(上水)
8 加 熱 残 分	57%
9 劇 物 表 示 (品名・含有量)	
10 労 安 法 上 の 表 示 有 害 物	
11 使 用 有 機 溶 剤 種 別	
12 消 防 法 に よ る 危 険 物 区 分	非危険物
13 硬 化 剤 の 成 分 に よ る 区 分	

主な適用素材

コンクリート、石膏ボード、スレート、モルタル、塩ビクロス

主な適用下塗塗料

アレスシックイシーラー

主な適用中塗塗料

主な適用上塗塗料

使用上の注意事項

- 1) 開缶後ハンドミキサーでよく攪拌して中身を均一な状態にしてから使用して下さい。又希釈したい時も同様にハンドミキサーで攪拌し均一な状態にして下さい。
- 2) 低温(5 以下)及び高湿度(85%以上)の場合は、施工を避けて下さい。
- 3) モルタル、コンクリートなどのアルカリ材質は、水分8%以下、pH10以下になるまで十分に乾燥させてください。
- 4) 夜間などは気温の低下によって結露し、塗面にシミが付いたり、塗膜をタレさせたりする事がありますので、冬期や雨天の塗装には特に注意してください。
- 5) ヤニなどで汚れている場合は、中性洗剤などで、十分に汚れを除去してください。通常の塗料に比べヤニのブリードが著しく発生します。又下塗りとして通常のヤニ止め塗料を塗布してもヤニのブリードが発生するおそれがありますので注意してください。
- 6) 強アルカリ材質です。保護具を必ず使用してください。
- 7) 本製品が付着したウエスなどは、必ず水に浸して処理してください。
- 8) アルミ材質との接触を避けて下さい。(アルミが腐食します)
- 9) 一般的な水性塗料中に少量でも本製品が混合するとゲル化しますので、絶対に避けて下さい。刷毛、ローラーなどの共用も避けて下さい。
- 10) 密閉環境下での塗装は避け、養生中も十分な換気を行って下さい。(乾燥が遅れ艶ムラが発生します。)
- 11) 高温(40 以上)及び低温(-5 以下)での保存は避けて下さい。
- 12) その他、塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細については MSDS(化学物質等安全データシート)を参照して下さい。

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

本製品説明書の内容には、予告なくして変更することがありますのであらかじめご了承ください。